



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社 アマダ 上場取引所 東
 コード番号 6113 URL https://www.amada.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 山梨 貴昭
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 三輪 和彦 (TEL) 0463-96-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	294,984	7.3	26,506	△15.4	27,170	△15.9	18,302	△10.7	18,186	△10.7
2025年3月期第3四半期	274,831	△3.6	31,332	△22.2	32,324	△20.8	20,486	△27.2	20,365	△27.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 41,501百万円(26.6%) 2025年3月期第3四半期 32,784百万円(△20.0%)

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	57.23	—
2025年3月期第3四半期	61.68	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	745,671	530,552	525,771	70.5
2025年3月期	649,891	523,750	519,212	79.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2026年3月期	—	31.00	—		
2026年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	10.9	46,000	△6.3	32,000	△1.2	102.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 13社 (社名) 株式会社エイチアンドエフ及び子会社4社、
 ビアメカニクス株式会社及び子会社7社、除外 1社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	328,173,017株	2025年3月期	328,173,017株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	15,276,089株	2025年3月期	6,915,590株
------------	-------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	317,758,526株	2025年3月期3Q	330,201,330株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を含めております (2026年3月期3Q 158,100株、2025年3月期 158,100株)。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書	9
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報)	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(企業結合)	14
3. 補足情報	19
受注及び販売の状況	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは2030年に目指す姿として「長期ビジョン2030」を掲げ、2023年5月に2025年度までの3か年計画「中期経営計画2025」を策定し、公表しました。この中期経営計画では①売上収益4,000億円の必達と収益性の改善、②長期成長戦略への活動開始、③資本政策（株主還元）の実施、④ESG経営・体制強化の4つの基本戦略方針により、継続的な成長と企業価値の向上に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、米国の関税政策による貿易の停滞感や地政学的リスクの長期化などを背景に、先行き不透明な状況が継続しました。

このような中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、M&Aにより取得した事業の寄与に加え、グローバルでA Iの普及拡大を背景としたデータセンター向け投資が下支えとなり、売上収益294,984百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

一方、既存事業では、収益性の向上を図り販売価格の改善に注力したものの、検収の遅れにより売上計上が停滞し、受注残高が積み上がりました。また、米国の関税影響や欧米を中心とした人件費の上昇などが影響し、営業利益は26,506百万円（前年同期比15.4%減）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は18,186百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

事業別・地域別の概況については、以下のとおりです。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
金属加工機械事業					
売上収益	227,211	82.7	222,459	75.4	△2.1
(板金部門)	(204,569)	(74.4)	(202,027)	(68.5)	(△1.2)
(微細溶接部門)	(22,642)	(8.3)	(20,431)	(6.9)	(△9.8)
(調整額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
営業利益	24,929	—	20,648	—	△17.2
金属工作機械事業					
売上収益	46,670	17.0	63,204	21.4	35.4
(切削・研削盤部門)	(33,337)	(12.1)	(32,172)	(10.9)	(△3.5)
(プレス部門)	(13,332)	(4.9)	(31,032)	(10.5)	(132.8)
(調整額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
営業利益	4,644	—	6,399	—	37.8
その他					
売上収益	949	0.3	9,320	3.2	881.2
営業利益又は損失(△)	1,759	—	△541	—	—
調整額					
売上収益	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	274,831	100.0	294,984	100.0	7.3
営業利益	31,332	—	26,506	—	△15.4

① 金属加工機械事業

売上収益は222,459百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は20,648百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

<板金部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	70,669	34.5	68,438	33.9	△3.2
海 外	133,899	65.5	133,589	66.1	△0.2
（北米）	(60,931)	(29.8)	(62,829)	(31.1)	(3.1)
（欧州）	(50,003)	(24.5)	(46,490)	(23.0)	(△7.0)
（アジア他）	(22,963)	(11.2)	(24,269)	(12.0)	(5.7)
合 計	204,569	100.0	202,027	100.0	△1.2

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。（以下の表も同様。）

日本：配電盤・制御盤、空調などデータセンター向けや半導体製造装置関連の設備投資は堅調に推移したものの、産業機械、工作機械、建設機械関連向けは軟調でした。その結果、売上収益は68,438百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

北米：米国では、発電所やデータセンター建設に伴う電力・人員不足などに起因した顧客側での工場建設や受電設備工事の遅延などにより検収を得られない状況が続くものの、大型経済政策（OBBBA）効果や関税を背景とした米国内への生産移管の動きに加え、データセンター関連需要は堅調に推移しました。その結果、売上収益は62,829百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

欧州：イタリアでは、年末に期限を迎えた優遇税制を背景とした駆け込み需要やデータセンター関連投資により販売は堅調に推移したものの、地域全体では米国関税の影響などから投資判断に慎重な姿勢が続きました。その結果、売上収益は46,490百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

アジア他：中国やオセアニアではデータセンター関連向け、インドでは建設・農業機械やエレベーター関連向け、台湾では電子機器関連向けが堅調に推移しました。その結果、売上収益は24,269百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

<微細溶接部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	2,954	13.0	2,836	13.9	△4.0
海 外	19,688	87.0	17,594	86.1	△10.6
(北米)	(7,902)	(34.9)	(5,989)	(29.3)	(△24.2)
(欧州)	(3,923)	(17.4)	(4,156)	(20.3)	(5.9)
(アジア他)	(7,862)	(34.7)	(7,448)	(36.5)	(△5.3)
合 計	22,642	100.0	20,431	100.0	△9.8

国内では、主要顧客である自動車関連の生産回復の遅れなどの影響を受け、設備投資判断は慎重な状態が続いております。特に、電装品、電装用モータ関連における需要回復には、なお時間を要する見込みです。海外では、北米及び欧州の航空宇宙分野や、中国のA I・データセンター関連は堅調に推移しました。EVバッテリー関連のグローバルな投資は、市場環境の変化を受けて慎重な姿勢となり、全体としては軟調に推移しました。

② 金属工作機械事業

売上収益は63,204百万円（前年同期比35.4%増）、営業利益は6,399百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

<切削・研削盤部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	15,908	47.7	13,942	43.3	△12.4
海 外	17,429	52.3	18,229	56.7	4.6
合 計	33,337	100.0	32,172	100.0	△3.5

国内では、自動車関連業の低迷や人手不足による建設市場の停滞により、設備投資への慎重な姿勢が見られました。一方、海外では、北米において大手鋼材流通業向けにバンドソーマシンの売上が堅調に推移したほか、低迷が続いた欧州でも景気が底打ちしつつある中で、ブレードを中心に持ち直しの兆しが見られました。

<プレス部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	10,198	76.5	19,151	61.7	87.8
海 外	3,133	23.5	11,881	38.3	279.1
合 計	13,332	100.0	31,032	100.0	132.8

国内は、米国関税や資材価格上昇の影響を受け、自動車部品メーカーを中心に設備投資への慎重な姿勢が見られました。一方、海外では、北米においてサーバラックなどデータセンター関連向けが売上増加に寄与したほか、医療関連向けにばね成形機が堅調に推移しました。なお、2025年5月1日付でプレス事業に加わったエイチアンドエフグループは、自動車関連分野におけるサーボプレス等の大型案件が売上増加につながりました。

③ その他

従来、遊休地の有効活用を目的としたショッピングセンターなどの不動産賃貸事業等を<その他>としてきましたが、2025年7月1日付でグループに加わったピアメカニクス株式会社及び子会社7社の売上収益もこちらに含めて表示しています。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

(地域別売上収益の状況)

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	100,668	36.6	107,954	36.6	7.2
海 外	174,162	63.4	187,029	63.4	7.4
(北米)	(77,225)	(28.1)	(82,372)	(27.9)	(6.7)
(欧州)	(59,845)	(21.8)	(57,325)	(19.4)	(△4.2)
(アジア他)	(37,091)	(13.5)	(47,331)	(16.1)	(27.6)
合 計	274,831	100.0	294,984	100.0	7.3

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日)	増減
流動資産(百万円)	414,511	471,027	56,516
非流動資産(百万円)	235,380	274,643	39,263
総資産(百万円)	649,891	745,671	95,779
負債(百万円)	126,141	215,119	88,977
資本(百万円)	523,750	530,552	6,801
親会社所有者帰属持分比率	79.9%	70.5%	△9.4%pt

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ95,779百万円増加し、745,671百万円となりました。これは、主にエイチアンドエフ及びピアメカニクス株式の取得に伴う資産及び負債の増加によるものです。流動資産は、既存事業における受注残の積み上がりに対して、特に米国において機動的な検収を進めるべく棚卸資産(出荷済未検収分を含む。)を積み増したことなどにより、56,516百万円増加の471,027百万円となりました。また、非流動資産は、主にピアメカニクス株式の取得に伴いのれんを計上したことで、39,263百万円増加の274,643百万円となりました。

負債はピアメカニクス株式の取得に伴う借入金などの増加により、前連結会計年度末と比べ88,977百万円増加の215,119百万円となりました。資本は、配当金の支払いや自己株式の取得を進める一方、四半期利益や期末時点の円安に伴う在外営業活動体の換算差額の増加により、6,801百万円増加の530,552百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末と比べ79.9%から70.5%と9.4%pt減少しました。

連結キャッシュ・フローの区別状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前期の利益に応じた法人税の支払いが生じたことや旺盛な受注状況を背景に次期以降の検収及び売上計上に向けた出荷済未検収分を含む棚卸資産を特に米国において積み上げたものの、税引前四半期利益の獲得や営業債権及びその他の債権の回収が進んだことなどにより、29,693百万円の収入(前年同期は、26,117百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、エイチアンドエフ及びピアメカニクス株式の取得に関わる支払いなどにより、21,669百万円の支出(前年同期は、11,463百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、ピアメカニクス株式の取得に充てた短期借入金の増加などにより、13,252百万円の収入(前年同期は、36,131百万円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ25,542百万円増の130,383百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2025年11月13日に公表した予想値に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,841	130,383
営業債権及びその他の債権	142,716	141,507
棚卸資産	131,432	171,534
その他の金融資産	27,707	8,286
その他の流動資産	7,814	19,316
流動資産合計	414,511	471,027
非流動資産		
有形固定資産	175,797	183,952
のれん	6,748	41,031
無形資産	12,270	11,890
持分法で会計処理されている 投資	719	949
その他の金融資産	18,033	11,452
繰延税金資産	12,564	16,289
その他の非流動資産	9,246	9,078
非流動資産合計	235,380	274,643
資産合計	649,891	745,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,320	46,303
借入金	10,954	74,336
未払法人所得税	6,850	7,866
その他の金融負債	2,680	5,399
引当金	2,159	3,751
その他の流動負債	41,845	53,254
流動負債合計	106,809	190,911
非流動負債		
その他の金融負債	10,684	12,228
退職給付に係る負債	3,757	6,136
引当金	8	175
繰延税金負債	896	887
その他の非流動負債	3,984	4,779
非流動負債合計	19,331	24,207
負債合計	126,141	215,119
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	101,635	101,878
利益剰余金	323,203	326,762
自己株式	△10,106	△24,979
その他の資本の構成要素	49,711	67,341
親会社の所有者に帰属する 持分合計	519,212	525,771
非支配持分	4,537	4,780
資本合計	523,750	530,552
負債及び資本合計	649,891	745,671

(2) 要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	274,831	294,984
売上原価	△154,783	△173,615
売上総利益	120,047	121,368
販売費及び一般管理費	△90,264	△95,469
その他の収益	2,172	1,168
その他の費用	△622	△561
営業利益	31,332	26,506
金融収益	1,960	3,248
金融費用	△1,085	△2,792
持分法による投資利益	115	207
税引前四半期利益	32,324	27,170
法人所得税費用	△11,837	△8,868
四半期利益	20,486	18,302
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	20,365	18,186
非支配持分	121	115
四半期利益	20,486	18,302
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	61.68	57.23
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	20,486	18,302
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	5,180	3,757
項目合計	5,180	3,757
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	7,111	19,446
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	0	0
持分法によるその他の包括利益	4	△6
項目合計	7,116	19,440
その他の包括利益合計	12,297	23,198
四半期包括利益	32,784	41,501
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	32,564	40,977
非支配持分	219	523
四半期包括利益	32,784	41,501

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2024年4月1日残高	54,768	120,536	311,076	△8,760	1,418	50,600	20	52,039	529,661	4,735	534,396
四半期利益	—	—	20,365	—	—	—	—	—	20,365	121	20,486
その他の包括利益	—	—	—	—	5,182	7,012	4	12,199	12,199	98	12,297
四半期包括利益	—	—	20,365	—	5,182	7,012	4	12,199	32,564	219	32,784
配当金	—	—	△21,910	—	—	—	—	—	△21,910	△273	△22,184
自己株式の取得	—	—	—	△16,205	—	—	—	—	△16,205	—	△16,205
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	3,093	—	△3,093	—	—	△3,093	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	0	△18,817	△16,205	△3,093	—	—	△3,093	△38,115	△273	△38,389
2024年12月31日残高	54,768	120,536	312,625	△24,965	3,508	57,613	24	61,145	524,110	4,681	528,791

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2025年4月1日残高	54,768	101,635	323,203	△10,106	1,690	47,988	33	49,711	519,212	4,537	523,750
四半期利益	—	—	18,186	—	—	—	—	—	18,186	115	18,302
その他の包括利益	—	—	—	—	3,757	19,039	△6	22,790	22,790	407	23,198
四半期包括利益	—	—	18,186	—	3,757	19,039	△6	22,790	40,977	523	41,501
配当金	—	—	△19,788	—	—	—	—	—	△19,788	△235	△20,024
株式報酬取引	—	22	—	—	—	—	—	—	22	—	22
自己株式の取得	—	—	—	△14,872	—	—	—	—	△14,872	—	△14,872
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	5,161	—	△5,161	—	—	△5,161	—	—	—
その他の増減	—	219	—	—	—	—	—	—	219	△45	174
所有者との取引額等合計	—	242	△14,627	△14,872	△5,161	—	—	△5,161	△34,418	△280	△34,699
2025年12月31日残高	54,768	101,878	326,762	△24,979	285	67,027	27	67,341	525,771	4,780	530,552

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	32,324	27,170
減価償却費及び償却費	14,438	15,799
株式報酬費用	—	22
金融収益及び金融費用	25	1,708
持分法による投資利益	△115	△207
固定資産除売却損益	△968	277
棚卸資産の増減	△4,552	△13,885
営業債権及びその他の債権の増減	24,841	19,124
営業債務及びその他の債務の増減	△23,537	△7,684
退職給付に係る負債の増減	65	△196
引当金の増減	△86	△84
その他	625	2,856
小計	43,060	44,902
利息の受取額	898	866
配当金の受取額	46	59
利息の支払額	△142	△279
法人所得税の支払額	△17,745	△15,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,117	29,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	2,019	12,123
有価証券の取得による支出	△9,000	△4,000
有価証券の売却及び償還による収入	14,800	13,300
投資有価証券の取得による支出	△32	△58
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,005	13,280
有形固定資産の取得による支出	△5,436	△3,891
有形固定資産の売却による収入	1,579	141
無形資産の取得による支出	△3,530	△2,984
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△49,866
その他	57	286
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,463	△21,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,354	63,100
短期借入れの返済による支出	△951	△1,693
短期借入れ金の純増減額	4,738	△28
長期借入れの返済による支出	△762	△10,678
リース負債の返済による支出	△2,143	△2,514
自己株式の取得による支出	△16,205	△14,872
配当金の支払額	△21,887	△19,775
非支配持分への配当金の支払額	△273	△235
その他	0	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,131	13,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	731	4,264
現金及び現金同等物の増減額	2,180	25,542
現金及び現金同等物の期首残高	93,420	104,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,600	130,383

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	227,211	46,670	949	274,831	—	274,831
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	227,211	46,670	949	274,831	—	274,831
セグメント利益	24,929	4,644	1,759	31,332	—	31,332
金融収益						1,960
金融費用						△1,085
持分法による投資利益						115
税引前四半期利益						32,324

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

3. その他の「セグメント利益」には、賃貸用不動産売却に伴い計上した売却益を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	222,459	63,204	9,320	294,984	—	294,984
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	222,459	63,204	9,320	294,984	—	294,984
セグメント利益又は損失(△)	20,648	6,399	△541	26,506	—	26,506
金融収益						3,248
金融費用						△2,792
持分法による投資利益						207
税引前四半期利益						27,170

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ピアメカニクス株式会社及び子会社7社の事業、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、営業利益と調整を行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合)

(株式会社エイチアンドエフの株式取得)

当社は、2025年1月24日開催の取締役会において、株式会社エイチアンドエフ（以下「エイチアンドエフ」）の発行済株式のすべてをカナデビア株式会社から取得し連結子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。この契約に基づき、2025年5月1日付で当該株式の取得を完了し、連結子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社エイチアンドエフ

事業内容 プレス機械、各種自動化装置、制御装置の製造・販売及びアフターサービス

② 企業結合を行った主な理由

エイチアンドエフのプレス事業と当社の保有する中小型プレス機械との補完性や、販売基盤と加工ノウハウ等の活用により、事業機会の拡大、経営基盤の強化等、更なる企業価値向上が期待できるものと判断し、株式取得を行うことを決定いたしました。

当社グループは今後、当社が持つ中小型プレス機械とエイチアンドエフが持つ大型プレス機械との相互補完関係を構築し、商品ラインナップや顧客基盤の大幅な拡充及びレーザブランピング装置をはじめとした高付加価値商品への資本の投下を実現してまいります。両社のシナジーを追求することによりプレス機械業界における当社グループのポジションをより強固なものとし、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年5月1日

④ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

⑤ 被取得企業の支配を獲得した方法

現金を対価とする株式取得

(2) 主な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 119百万円

(注) 前連結会計年度において、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に115百万円、当第3四半期連結累計期間において、要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に4百万円を計上しております。

(3) 取得対価及びその内訳

(単位：百万円)

項目	金額
取得対価の公正価値(注)	
現金	17,700
合計	17,700

(注) 取得対価の公正価値は、支配獲得日における公正価値を基礎として、取得した資産及び引き受けた負債に分配しております。

(4) 企業結合日における取得資産及び引受負債の公正価値

(単位：百万円)	
項目	金額
取得資産及び引受負債の公正価値	
流動資産	
現金及び現金同等物	12,280
営業債権及びその他の債権(注)	3,810
棚卸資産	908
その他	6,341
非流動資産	
有形固定資産	4,386
無形資産	77
繰延税金資産	850
その他	1,056
資産合計	29,711
流動負債	
営業債務及びその他の債務	7,821
引当金	1,349
その他	685
非流動負債	
退職給付に係る負債	1,339
その他	984
負債合計	12,179
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	17,531

(注) 取得した流動資産に含まれる「営業債権及びその他の債権」の公正価値3,810百万円において、契約上の未収金額の総額は3,828百万円であり、回収が見込まれない契約上のキャッシュ・フローは17百万円であります。

(5) 取得により生じたのれん

(単位：百万円)	
項目	金額
取得対価	17,700
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	17,531
のれん(注)	168

(注) のれんは、主に、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果を含めた超過収益力の合理的な見積りにより発生するものであります。なお、当該のれんのうち、税務上損金算入が見込まれるものはありません。

(6) 子会社株式の取得による支出

(単位：百万円)	
項目	金額
現金による取得対価	17,700
取得した子会社における現金及び現金同等物	12,280
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	5,419

(7) 当社グループの業績に与える影響

当社グループの要約四半期連結損益計算書に含まれる、取得日以降にエイチアンドエフから生じた売上収益、四半期利益及び当該企業結合が期首に行われたと仮定した場合の損益情報は、要約四半期連結損益計算書に与える影響額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(ピアメカニクス株式会社の株式取得)

当社は、2025年4月17日開催の取締役会において、ピアメカニクス株式会社（以下「ピアメカニクス」）の発行済株式のすべてを株式会社アドバンテッジパートナーズがサービスを提供するファンド等から取得し連結子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。この契約に基づき、2025年7月1日付で当該株式の取得を完了し、連結子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ピアメカニクス株式会社
事業内容 半導体パッケージ基板及びプリント基板向けの高精度なドリル穴明機 / レーザ加工機の研究・開発、設計、製造、販売、サービス

② 企業結合を行った主な理由

当社が保有するレーザ技術などのコア技術、自動化装置、IoTによるサービスサポート体制や生産供給体制の仕組み等と、ピアメカニクスが保有するレーザによる穴明加工技術や、製造装置を高速、高精度化する技術は、親和性が非常に高いと考えられること、更に当社が保有する半導体産業における顧客基盤の活用などによる事業機会の拡大、経営基盤の強化等、更なる企業価値向上を期待できるものと判断し、株式取得を行うことを決定いたしました。

当社グループは今後、当社が持つ自動化ソリューションとピアメカニクスが持つ高い技術を生かしたドリル穴明機や超精密レーザ加工機との相互補完関係を構築し、半導体業界の顧客基盤の大幅な拡充及びドリル穴明機やレーザ加工機をはじめとした高付加価値商品への資本の投下を実現してまいります。両社のシナジーを追求することにより当社グループのポジションをより強固なものとし、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年7月1日

④ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

⑤ 被取得企業の支配を獲得した方法

現金を対価とする株式取得

(2) 主な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 740百万円

(注) 前連結会計年度において、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に719百万円、当第3四半期連結累計期間において、要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に20百万円を計上しております。

(3) 取得対価及びその内訳

(単位：百万円)	
項目	金額
取得対価の公正価値(注)	
現金	51,000
合計	51,000

(注) 取得対価の公正価値は、支配獲得日における公正価値を基礎として、取得した資産及び引き受けた負債に分配しております。

(4) 企業結合日における取得資産及び引受負債の公正価値

(単位：百万円)	
項目	金額
取得資産及び引受負債の公正価値	
流動資産	
現金及び現金同等物	6,552
営業債権及びその他の債権(注)2	7,026
棚卸資産	17,213
その他	793
非流動資産	
有形固定資産	5,553
無形資産	39
繰延税金資産	497
その他	174
資産合計	37,851
流動負債	
営業債務及びその他の債務	4,133
借入金	2,714
その他	1,773
非流動負債	
借入金	9,464
その他	2,562
負債合計	20,647
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	17,204

(注) 1. 取得資産及び引受負債の公正価値は、報告日時点において、独立の専門家による公正価値評価が未了であり、取得原価の配分が完了していないことから、現時点での最善の見積りによる暫定的な公正価値であり、支配獲得日時点で存在していた事実や状況に関する追加的な情報が得られ評価される場合、支配獲得日から1年間は修正されることがあります。

2. 取得した流動資産に含まれる「営業債権及びその他の債権」の公正価値7,026百万円において、契約上の未収金額の総額は7,031百万円であり、回収が見込まれない契約上のキャッシュ・フローは5百万円です。

(5) 取得により生じたのれん

(単位：百万円)	
項目	金額
取得対価	51,000
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	17,204
のれん(注)	33,795

(注) のれんに関しては、主に、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果を含めた超過収益力の合理的な見積りにより発生するものではありませんが、取得資産及び引受負債の公正価値が確定していないため、暫定的に算定された金額であります。公正価値の確定後は、主に、報告日時点では識別されていないのれんとは区別して認識される無形資産に支払対価が配分され、のれんの金額が確定します。

なお、当該のれんにおける税務上の取り扱いについては、報告日時点において未定であります。

(6) 子会社株式の取得による支出

	(単位：百万円)
項目	金額
現金による取得対価	51,000
取得した子会社における現金及び現金同等物	6,552
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	44,447

(7) 当社グループの業績に与える影響

当社グループの要約四半期連結損益計算書に含まれる、取得日以降にピアメカニクスから生じた売上収益、四半期利益及び当該企業結合が期首に行われたと仮定した場合の損益情報は、要約四半期連結損益計算書に与える影響額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注状況

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)			
	受注高		受注残高		受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	201,612	74.3	121,408	76.8	213,101	66.7	120,460	55.7
微細溶接部門	22,891	8.4	13,995	8.9	23,143	7.2	12,879	5.9
切削・研削盤部門	29,939	11.0	10,880	6.8	31,482	9.9	10,033	4.6
プレス部門(注)1	15,982	5.9	11,851	7.5	33,294	10.4	38,760	17.9
その他(注)2	949	0.4	—	—	18,635	5.8	34,459	15.9
合計	271,375	100.0	158,136	100.0	319,658	100.0	216,593	100.0

(注)1. 当第3四半期連結累計期間において、2025年5月1日付で連結子会社化した株式会社エイチアンドエフ及び子会社4社の数値を含めております。

2. 当第3四半期連結累計期間において、2025年7月1日付で連結子会社化したピアメカニクス株式会社及び子会社7社の数値を含めております。

2. 販売実績

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	204,569	74.4	202,027	68.5
微細溶接部門	22,642	8.3	20,431	6.9
切削・研削盤部門	33,337	12.1	32,172	10.9
プレス部門(注)1	13,332	4.9	31,032	10.5
その他(注)2	949	0.3	9,320	3.2
合計	274,831	100.0	294,984	100.0

(注)1. 当第3四半期連結累計期間において、2025年5月1日付で連結子会社化した株式会社エイチアンドエフ及び子会社4社の数値を含めております。

2. 当第3四半期連結累計期間において、2025年7月1日付で連結子会社化したピアメカニクス株式会社及び子会社7社の数値を含めております。